

中山間課題解決検討チーム（庄内町立谷沢地域）の活動内容

令和6年10月17日
中山間地域課題解決検討チーム

概要

- 中山間地域集落を維持するため、県・町が一体となった**中山間地域課題解決検討チーム**を結成。
- 地域支援チーム（事務局：庄内総合支庁）**の取組みと連携し、地域計画との調整を図り、高齢化による離農や担い手人口の減少等により生じた中山間地域の遊休農地解消につなげるため、**遊休農地の有効活用方策**を検討する。

目標

庄内町立谷沢地域において、地域計画等との調整を図り、

遊休農地の有効活用方策の提案を目指す。

これまでの活動（～R5）

－ R 4 －

- R4.10 チーム結成
- ワークショップの開催（計3回）
- 随時 打合せ・会議



－ R 5 －

- R5.8 活動方針の**ロードマップ**を作成
- R5.9 「まるっと中間管理方式」や「特定地域づくり協同組合制度」等を学ぶ**セミナー**を開催
- R5.9 庄内町が農家へ**アンケート**を実施
- R6.1 庄内町がアンケート結果を地図化
- R6.2 地図を用いて、将来の農地利用に関する合意形成を図る**座談会**を実施
- 随時 打合せ・会議



ワークショップの様子

活動の成果・課題

－ 成果 －

- ・ロードマップ作成による町、地域支援チームとの進捗状況の共有。
- ・農業委員会サポートシステムの最新化を支援。
- ・町による意向把握アンケートの実施。
- ・アンケート結果を町で取りまとめ、地図化を実施。
- ・R6.2月に座談会を実施。
- ・R5.12月に、急に不耕作となった20haの農地について、地域外の担い手とのマッチングを行い、作付けできることとなった。



座談会の様子

－ 課題 －

- ・担い手不足や後継者不足により、上流側の地域では、耕作者がいなくなり、遊休農地化する可能性が高い。
- ・鳥獣害による被害があり、緩衝地帯や保全管理等の土地利用について検討。

6年度の取組内容

